

目 次

・ 総括研究報告

研究代表者 吉崎和幸	1
------------------	---

・ 分担研究報告

1. 診療体制の確立	13
矢野真吾 東京慈恵会医科大学医学部腫瘍・血液内科	
2. 患者会の支援.....	16
吉崎和幸 大阪大学産業科学研究所第3研究部門医薬品化学研究分野	
3. 診断基準、臨床的病型分類、重症度分類、および、診療の参照ガイドの策定	20
川端浩 京都大学医学研究科血液・腫瘍内科学	
4. 「新規疾患；TAFRO 症候群の確立のための研究」研究班からの報告	37
正木康史 金沢医科大学医学部血液免疫内科学	
5. キャッスルマン病の病理診断基準の策定と病理中央診断システムの構築	42
中塚伸一 独立行政法人労働者健康福祉機構関西労災病院病理診断科	
6. 国際キャッスルマン病臨床ネットワーク（CDCN）との Collaboration について	45
井出眞 日本赤十字社高松赤十字病院血液内科	
7. サイトカインの多項目同時測定によるキャッスルマン病の病態の解析	48

川上純

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科展開医療科学講座（第一内科）

8. リウマチと多中心型キャッスルマン病のトシリズマブ治療前後の 51
 サイトカイン・ケモカイン動態と疾患特性

宇野賀津子

（公財）ルイ・パストゥール医学研究センター

9. 指定難病の申請 55

吉崎和幸

大阪大学産業科学研究所第3研究部門医薬品化学研究分野

10. トシリズマブが奏功したキャッスルマン病の一例 67

塩沢和子

一般財団法人甲南会加古川病院リウマチ膠原病センター

11. Multicentric Castleman 病に対する tocilizumab 治療後に 71
 IgG4 関連疾患を発症した一例

水木満佐央

大阪大学医学部附属病院血液・腫瘍内科

・ 班会議

- ・ 第1回班会議プログラム 75
・ 第2回班会議プログラム・抄録集 81

・ その他資料

- ・ 倫理審査委員会（大阪大学附属病院） 107
・ 国際キャッスルマン病臨床ネットワーク（CDCN） 139

・ 第 1 回キャッスルマン病患者会設立総会・医療講演会	149
------------------------------------	-----

・ 研究成果の刊行に関する一覧表	165
-------------------------------	------------

・ 名簿

・ 班構成員	173
--------------	-----

・ 拠点病院	177
--------------	-----